

LIBRARY NEWS

令和8年6月24日 No.3

新座市立第三中学校

校長 近藤 章宏

(図書室だより) 図書整理員 名本 浩子

今月の7日、気象庁から、関東甲信地方が梅雨入りしたとみられると発表がありました。

悪天候で、屋外で活動したり、レジャーを楽しんだりできない日には、家で、ゆっくり読書するのもおすすめです。

ちょうど1年ほど前、社会現象にもなった、映画『国宝』の上映が始まりました。数々の映画祭に出品、上映され、第98回アカデミー賞メイクアップ&ヘアスタイリング賞にもノミネートされました。今もなお、上映している劇場がある、ロングランの映画です。

その映画の影響もあり、原作小説、吉田修一の『国宝』が、驚異的に売り上げを伸ばしました。

この『国宝』もそうですが、小説やマンガを映画化した作品と、原作を比べてみると、それぞれに感じるものが異なります。小説を先に読むか、映画を先に観るか。人それぞれですし、タイミングもあるでしょう。

三中の図書室にも、映画化された作品の原作小説がいろいろあります。上映中の映画やこれから公開される映画の原作を読んでみませんか。そして、映画とは異なる小説の表現の魅力を感じてみてください。

こくろうじょう
『黒牢城』
米澤 穂信/著 (KADOKAWA)



6月19日
劇場公開

第166回 直木賞受賞
四大ミステリ
ランキング完全制覇

荒木村重は、織田信長に叛旗を翻して有岡城に立て籠った。城内で次々に起きる事件。村重は地下牢に監禁している黒田官兵衛の元へ。官兵衛のヒントで、誰が犯人か明らかになっていく。長編ですが、最後まで楽しめる時代・歴史ミステリー。



『君のクイズ』

小川 哲/著 (朝日新聞出版)



5月15日公開
上映中

クイズ番組の優勝者は、なぜ問題を1文字も聞かずに正解できたのか。

これから
劇場公開される
映画の原作小説



『あの星が降る丘で、君とまた会いたい。』

汐見 夏衛/著
(スターツ出版)

8月7日
劇場公開



『白鳥とコウモリ』

東野 圭吾/著 (幻冬舎)

9月4日
劇場公開



10月9日
劇場公開

『汝、星のごとく』

凧良 ゆう/著 (講談社)



スター フックス
STAR BOOKS OPEN!

6月15日(月)から、借りた人に“スターフックス”のしおりをプレゼントしています。

あの世界最大手のコーヒーチェーン店にも劣らない、おいしいドリンクのしおりをご用意しています。

メニューは、全4種。お好みのしおりをお選びください。

ぜひ、図書室までお越しください!



「読書の夏」
キャンペーンのお知らせ

7月9日(木) ~
7月16日(木)

1人5冊まで借りられます。

課題図書に続いて、今年度の新着図書が間もなく到着予定です。新しい本が到着し、貸し出しの準備が整い次第、お知らせします。

今回は、昨年末に入った本の中から、『夏』に ちなんだ本を紹介するので、一足早く、読書で、梅雨明けのあとの熱い夏をお楽しみください。

『あの夏のキミを探して』

汐見 夏衛/著 (スターツ出版)



中1の陽和は、夏休み、おじいちゃんの家^{ひより}の裏山で、キミちゃんに会い、仲良くなる。

でも、キミちゃんと、ちょっとしたことでケンカ別れをして、そのまま会えなくなってしまう。

これは、わたしのいちばんつらい夏を、わたしのいちばん大事な夏にしてくれたキミちゃんと、特別な時間を過ごした、あの夏のお話です。

『七月の波をつかまえて』

ポール・モーシャール/作 代田 亜香子/訳 (岩波書店)



きらめきときめきの夏のはずなのに、場違いなブラックメイクで武装して、これから人生最悪の夏が始まるというような暗い顔の主人公ジュイエ。

旅先の海辺の町で、太陽みたいに明るいサーファーガールのサマーと出会い、気づけばサーフィンに挑戦することに――。

生まれては消えていく波を夢中で追った2人の特別な31日間の物語。

『夏の辞典』

梅内 美華子/監修 (リベラル社)



風流な言葉がいっぱい！

季節の移ろいとともに心を動かし、わきあがる感情を言葉で表現して生まれた美しい日本語の中から、「夏」にまつわるものを集めた辞典。

ドラマのワンシーンのような印象的な写真・イラストの数々。

夏を舞台にした小説、漫画、歌(俳句、短歌、名曲)などのガイドもあり、夏のあらゆる要素をすべて詰め込んだ1冊です。

『学研学習まんがシリーズ まんがで読む古典』

まんがで読む四谷怪談 雨月物語

板坂 則子/監修 (Gakken)



怖い本が好きな人はこれ！

怪談の定番、鶴屋南北による『東海道四谷怪談』と、上田秋成の代表作『雨月物語』をまんが化！

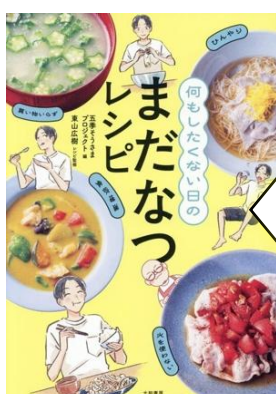
内容に関連したコラムで詳しく解説。知識や理解が深まります。

古典文学のおもしろさを体験し、古典への興味も広がります。

『何もしたくない日のまだなつレシピ』

五季そうさまプロジェクト/編 著

東山 広樹/レシピ監修 (大和書房)



暑すぎて料理なんて無理！

そんな日に、できるだけ火を使わず、短時間でできる料理を、写真やイラストで紹介。

食欲がなくても、箸が進むレシピが満載。

平和について考えよう

『漫画 いしづみ』

原爆が落ちてくるとき、ぼくらは空を見ていた』

広島テレビ放送編「いしづみ」/原作 サメマチオ/漫画 (ポプラ社)



〔絵本〕

『1945年8月6日』

あさ8時15分、わたしは』

原爆を体験した子どもたち/言葉 いわさきちひろ/絵 (童心社)

